



PV通信をご覧のみなさま「ご安全に！」

NPO法人「プール・ボランティア」が設立されて1年が過ぎました。おかげさまで利用者は、毎月200名を越え、ボランティア会員も171名（3月末現在）になりました。けれども、まだまだスタッフの絶対数が不足しており、現在4つの団体約50名の利用者が「利用待機」の状態にあります。さて、今年は「ボランティア国際年」ということでもあり、今後、ますますボランティア活動が活発になると予想されます。PVも所帯が大きくなったことに合わせて、事務局に最新のオリジナルコンピューターシステムを導入しました。活動がより円滑に進むことと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

監事 三谷典正

《子どもとなかよしになるために》

子どもを知る

資料を確認し、わからないことは保護者にたずねましょう。今日の体調、好きなこと、苦手なことを知っておくと、遊びもぐんと広がります。スタッフと保護者との信頼関係が出来ていれば、子どもは安心できるはずです。また、プールにおいては、排泄のタイミングを知っておくことが必要です。”おしっこがしたい”のサイン、トイレに誘うサイン、排泄の間隔等も保護者に確認しておきましょう。

見守り責任

”自分が（プールに来た）子どもだったら？”と、相手の立場になって考えると、スタッフとしてすること、してはいけないことがより、わかってきます。とにかく、子どもは予想もしないような行動をするもの。そのことを十分に頭に入れて、危険がないように見守りながら、思いもよらないハプニングを楽しみましょう

時間

プールで過ごす数時間は、子どもにとって貴重な時間です。子どもが、心も体も思いっきり楽しめる時間に。また、その時間をスタッフも共有できるといいですね。



笑顔

子どもたちの楽しそうな笑顔につられて、こちら笑顔になることも多いですが、子どもの気持ちがかみきれなくて、スタッフとして”何をしたらいいのだろう？”と、わからなくなる場合もあります。スタッフが不安になると、表情や態度から子どもは敏感に受けとめます。そんなときも、とにかく笑顔☺で、こちらからたくさんの言葉をかけて、コミュニケーションをとることが大切です。歌が好きな子どもも多く、大きな声で歌うのも歌うことで、子どもだけでなくスタッフの心もリラックス出来て、自然に笑顔☺になれますよ。



自立

子どもが必要とすることだけをサポートしてあげてください。ちょっとした声かけや関わり方で出来る事がどんどん増えます。可能性を引き出してあげられるといいですね。

愛情

ぎゅっと抱きしめて、自分のぬくもりを伝えてあげるくらいの気持ちが大切です。大好き♥の気持ちをいっぱい伝えてあげましょう。

子どもとの積極的な関わりの中で、より良い関係が生まれ、子ども達の成長、発達につながられるのではと思います。子どもの状態を把握しながら、いろいろチャレンジしてみたいですか。スタッフ同士声を掛け合って協力したり、情報を交換してより良いサポートが出来るようにしていきたいですね。PVスタッフには、いろんな分野のプロがたくさんいるのですよ。自分から進んでコミュニケーションをしてみましょう。おもしろいエピソード、うれしかった出来事等があったら、ぜひ、教えてくださいね。ゆっくりと！『子どもたちと一緒に水を楽しむ』という気持ちで♥